

南魚沼市議会  
塩谷議長 殿

令和4年8月6日  
南魚みらいクラブ長  
吉田 光利

### 南魚みらいクラブ北海道視察報告

- 1.日 時 令和4年8月3日～5日
- 2.視察先 上士幌町「(株)生涯活躍のまち かみしほろ」  
帯広市役所 LAND
- 3.参加者 歩む会 塩谷議長  
南魚みらいクラブ 関議員 黒滝議員 小澤議員 塩川議員  
桑原議員 目黒議員 吉田議員記  
尚、議長含め8名の参加、清塚議員体調不良のため不参加、  
関議員、小沢議員は、公務他の為、2日目午前中視察までの参加と  
なりました。

4.目 的 上士幌町、帯広市のまちづくり活性化の取り組み

5.視察内容

「1日目」 8月3日

○(株)生涯活躍の涯まち かみしほろ」 視察

・上士幌町出席者

上士幌町づくりアドバイザー松井利夫様

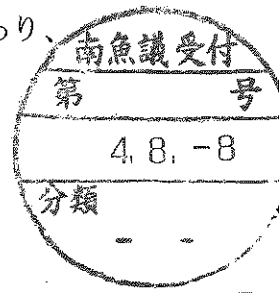
上士幌副町長杉原様、事業統括平岡様 企画財政課 宮部課長様

他スタッフ

副市長より歓迎のあいさつ、吉田より紹介を兼ねて代表挨拶を後、  
宮部課長より、豊富なパワーポイント資料に基づき説明がありました。  
ふるさと創生、「北海道上士幌町のキセキ」の本に紹介されているように、  
5年前は消滅可能都市のひとつが、予想を裏切り、官民協働で果敢に取り組  
み、出生率の向上、高齢化率低下、人口増加への転じながら、一人当たりの  
平均所得の伸び実績を示している。正にキセキの内容である。

(詳細は(株)生涯のまち かみしほろ 添付資料参照)

とにかく、成功のポイントは、竹中町長のICT、デジタル化、SDGsで  
の省エネにいち早く取組等、デジタル課を既に設置し、若い職員をうまく活  
用、ふるさと納税もいち早く着眼し取組み、財源確保に努めた先見性とアイ  
デアそして行動力、民間経営感覚を感じました。また 松井利夫様の寄付金  
を人づくり、起業人作り、そして松井利夫様を、まちづくりアドバイザーと  
して招聘しお金だけでなく、知恵だし職員の指導等、素晴らしいものがあり、



取り組みには衝撃的な感銘を受けました。

全体説明に対し塩谷議長より謝辞を行い次の視察に向かう。

「かみしほろシェアハウス」の機能性、景観、安定した経営を視察後。「道の駅かみしほろ」をみさせていただきました。毎日新聞にも取り上げられた来館者 100 万人を突破し、旅行紙のランキングでも 2021 年 1 位に輝いたところであるが、町の指定管理で運営されている。地元の食材を使った飲食店、子供に遊べるスペース、清潔で広々とした景観も素晴らしく、松井利夫アドバイザー指導が明確になっております。

[2 日目] 8 月 4 日

○帯広市役所 十勝「フードバレーとかち」

帯広市出席者

帯広市議会議長有城様 経済企画山本課長 秘書課長石橋様

他スタッフ

有城議長様の歓迎挨拶、吉田の南魚沼市紹介を兼ねて挨拶後、山本課長様より膨大なパワーポイント資料で説明いただきました。

尚、有城議長は公務退席

十勝の概要としては、

- ・構成自治体、1 市 16 町 2 村
- ・面積 10,831 k m<sup>2</sup>
- ・人口 33.3 万人

「開拓の精神」いろんな人が混じっている 「混血」

徹底的に民間の感覚で民間の力を活用して発展している。

全国的にも有名である米沢市長の方針で、ヨーロッパに、学びコンパクトな町づくりを実践している。機能を帯広に集中させながらグリーンベルトで囲む政策は素晴らしく感じた。

決して閉鎖的でなく、他の市長村との役割分担及び自主性を活かし、お互いに十勝として成長させている。人間より牛の数が多いところであるが、出るお金はエネルギーが一番多い考えから、糞をバイオス発電に活用、農産物の収量、安全性へのポートフォリオ、先進農業の推進、機械化、大規模農家の育成、十勝農業のポジションは、千葉県の総取扱高に、匹敵するまでに成長、一人当たり 1 千万円以上の農家も珍しくなく、耕作放棄地も見られず、後継についても、希望者が多く控えているとのことである。一方、十勝での新設会社数は 2021 年 245 社にも、10 年前に比較し 40% 増である。

(詳細は資料)

○事業創発拠点「LAND」

・出席者 上土幌町づくりアドバイザー松井利夫様

公益財団法人とかち財団 森川執行役員事務局長

公益財団法人とかち財団 高橋課長 その他スタッフ

高橋課長より、パワーポイントで事例含め長時間にわたり説明いただく。

・帯広駅のすぐ近くにあり、とかちのやりたい実現カフェ「LAND」である。松井利夫さんの寄付で建てられたもので、基本的には入場料は無料、カフェ利用は別であるが、松井利夫アドバイザーによると寄付されたものに、お金を取っては意味もなく、本来の人流活発化が図れなく、起業人育成のきっかけが遠くなるとのコメントをいただき、南魚沼市にとって運営上、非常に参考となる。人材育成実績も素晴らしいものがあるが、とにかく、ユニークの発想仕掛けが豊富である。資料にもあるが、暗闇でのディスカッション、落書きアイデアボードなど、いろいろな仕掛けが盛り沢山に工夫されている。冬はこたつスペースを設けて好評であり、そこにミカンくらい置こうよという、米沢市長の発想、中学生や70歳を超える女性が事業創発アイデア提案事例等、信じられないくらいの活性化である。我々が説明を聞いている時にも、コアキングスペースの利用者も真剣なまなざしで仕事に取り組んでいました。

(資料 フードバレーとかち資料参照)

[その他]

米沢市長様、アルプス技研創業者 最高顧問松井利夫様と、予定外に意見交換がなされ、とかち財団の資金運営含めていろいろ多面に渡りご指導いただきました。民の活用がポイントであることは間違いないようです。

(まとめ)

コロナ禍の中、出発時一抹の不安要素はありましたが、2日間に渡り本当に中身の濃い研修が出来たと思います。何といたっても、トップの指導の表れと思いますが、上土幌町の皆様、帯広市の皆様の心温かい行き届いた対応には本当に感謝申し上げます。また、議会事務局殿よりの準備連携ありがとうございました。今回の視察を今後の議員活動に生かしたいと思います。



帯広市議場にて



事業双発拠点 「LAND」



道の駅 かみしほろ (指定管理)

以上

## 北海道 十勝視察について

令和4年8月9日

歩む会 塩谷寿雄

1. 日時 令和4年8月3日～5日
2. 視察先 上士幌町「(株)生涯活躍のまち かみしほろ」  
帯広市役所 LAND

### 3. 視察内容

#### ① (株)生涯のまちかみしほろ

行政、社協、ハローワーク、地域コミなど、縦割りではなく、横の連携も取れている施設である。地域おこし協力隊が職員になり、それぞれが役割を持ち、能力を発揮し、外からの点や上士幌への思いを取り入れ町の活性化に生かしている。特にどの職員でも、施設の取組について話せることが素晴らしいと感じた。

自治体の規模は、わが市の塩沢地区くらいの人口ということもあり、職員の目がまちな行き届いているという印象を受けた。

#### ② かみしほろシェア office「アグリー」

素晴らしい景色を望みながら、仕事ができる施設である。特にデジタル庁の補助金をフルに使った施設で、施設利用者も補助金をもらっている(交通費や宿泊費の補助として)。ここでも地域おこし協力隊を雇用しており、外部の力をフルに活用している。素晴らしいかった。

#### ③ 帯広市、フードバレーとかち

19市町村が一体となって十勝ブランドの構築、わが市、わが町という方が多いと思うが、農業者と行政ともに十勝ブランドにブラッシュアップをかける一体感がある。1人当たり所有農地が平均45ヘクタールと伺った。多い人では200ヘクタール以上を所有する大規模農家だ。一人当たりの所得は、1000万円とのことである。開拓の精神、混血と、やる気、よそ者の力で、十勝の農業産出額は全国都道府県5位「JA取扱高」3735億円、伸び率がここ10年で45.2%と全国8.5%を大きく上回っている。

基本価格の向上、AIを活用した先進農業、バイオマス産業、畜産業の成長加速、などの様々な取組を行いINGで行っている。

また、様々な某有名会社の代表などと、つながりを持つことによりアドバイス等の助言、提言などを聞き伸びている地域だと感じた。

#### ④ 事業創発拠点「LAND」

施設内は様々な業種の仕事に使われているようだった。視察中にも多くの利用者が訪れていた。我々の施設と違うところは、使用料が無料であるところである。高校生の利用も多いと聞いたが、これは使用料が無料であるからだと思う。誰でも立ち寄れるところとして、南魚沼市の事業創発拠点も使用料を無料するべきだ。

高校生から年配まで年齢を問わずアイデアを出し、起業に至るまでのシミュレーショ

ンを行い、商売になるかを考え、商売になるようなら起業までもっていけるようにサポートを行う。LANDの職員が業界のスペシャリストとマッチングしてくれるので、起業のチャンスが広がっている。高校生でも帯広、十勝についてダメなところだけでなく、その解決策まで考え提言している。

この運営には、十勝財団「19市町村」が行っており、多くの起業家を生み出してきている。また、いろいろな先進地を見る、勉強することで、商売繁盛につなげてきている。

#### 4. 所感

南魚沼市も財団を作る取組を加速していくべきだと思う、雪国観光圏なのかこの地の全体の取組に期待をしている。

ふるさと納税が絶好調だ。このふるさと納税でつながった多くの方々に南魚沼市の応援隊に参加してもらい「アイデア、アドバイス」をいただきたい。

上士幌町、帯広市に行き、若い職員でも補助金や助成金が何の事業に対して使われているかを把握しており、いろいろの部署で国、県の補助金に対する意識が高かった。補助金を出す国・県も、利用する自治体も成功事例をつくるため、それぞれが意識を高く持っており、補助金に対してよい循環ができています。見習うべきだと思った。